

< 基本操作編 >

基本的な操作方法については、FOMA N900iLをご購入時に添付されている取扱説明書<基本編> P72～をよくお読みのうえご利用願います。



FOMA N900iLを利用して困った場合は取扱説明書398ページ以降をご確認下さい。



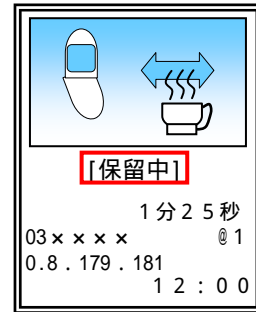
< 保留操作編 >

保留方法

< 通話中保留 >

通話中の通話を保留することができます。

1. 通話中に を押す。
相手に保留音が流れます。
保留中に相手が電話を切った場合は、通話が切れます。
2. 電話に出られる状態になったら を押す。
元の通話に戻り再度、お話することができます。



保留転送方法

< 通話中転送 >

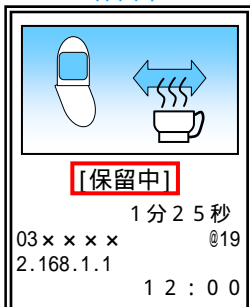
通話中の通話を保留し、システム内の電話機(内線)や他の電話番号に転送することができます。

1. 通話中に を押す。
2. ディスプレイに【保留中】と表示されていることを確認。
3. 転送したい内線番号、または外線番号をFOMA本体の数字ボタンをダイヤルする。
4. 転送したい相手先と通話している状態で を押す。<転送終了>
相手先が話中または、不在等で保留した通話に戻る場合は、 を押して下さい。

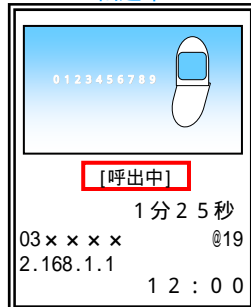
< 保留転送時のポイント >

等の操作ボタンを押下する必要はございません。転送先をダイヤルしそのままお待ち下さい。
【保留中】と表示されていることを必ず確認した後、転送先をダイヤルしてください。

< 保留中 >



< 転送中 >



< 転送中 >



< 終了 >



転送が正しく実行されている場合は、転送先の電話番号もしくは内線番号が表示されます。

転送が正しく実行されて転送先との通話が確立されたらディスプレイ表示が変わります。

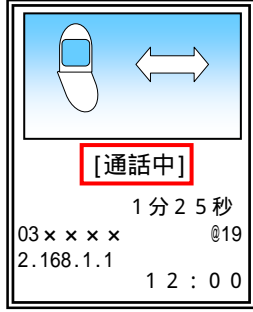
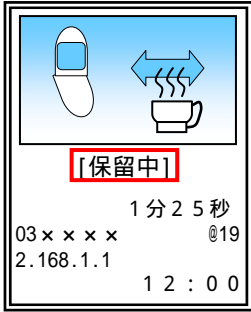
操作が失敗してしまった場合は、次ページのような画面表示になります。

転送操作が失敗した場合、転送先へ接続されずもう一度、相手先に接続されます。

<転送に失敗した場合>

<保留中>

<転送失敗>



<転送操作についてのポイント>

FOMA N900iLのディスプレイ状態を確認して操作して下さい。
転送先ダイヤルを入力後、「呼出中」とならず「通話中」と表示された場合は、転送操作に失敗しています。
転送が失敗した場合は、再度転送操作を実施して下さい。

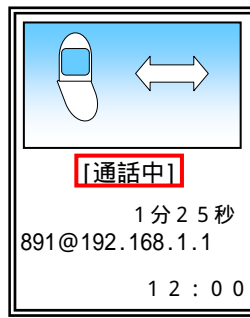
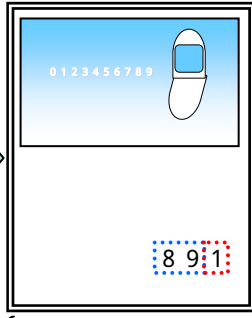
(ワポイント) 音声でも転送操作を確認できます。
転送操作に失敗した場合、転送先ダイヤルを入力後、呼出音がならず相手先と自動的に接続されます。

パーク保留された通話に応答する

<パーク保留応答>

通話中の通話を保留し、システム内で共有した保留通話を解除します。

1. **パーク保留用の特番(A):解除** + **パーク保留番号(B)**をFOMA N900iLの数字ボタンを押し を押す。
特番はお客様により個別に設定できます。



割付けたパーク保留ボタンが
消灯していることを確認

任意の特番(A)
任意の保留ボタン(B)
を連続して数字ボタンを入力

パーク保留用の特番(A)	パーク保留番号(B)		
応答時	保留ボタン1	保留ボタン2	保留ボタン3
	保留ボタン4	保留ボタン5	保留ボタン6

FOMA N900iL内線コードレス利用の注意事項

<WLANモードご利用時の注意事項>

FOMA N900iLにて保留した通話を転送する場合は、ディスプレイ画面の状態を確認して操作して下さい。 FOMA N900iLで連続したボタン操作を行った場合、実行した操作が失敗することがあります。その場合、FOMA N900iLの再起動等の操作を実施下さい。詳細は、FOMA N900iLの取扱説明書「P.398ボタンを押しても何も応答しない」をご参照下さい。 転送先のFOMA N900iLがWLANのサービスエリア外にいる時、FOMA N900iLへの転送はできません。もし、WLANサービスエリア外へ転送する場合は、ビジネスホン主装置の「圏外転送」の設定が必要となります。 FOMA N900iLにて転送する場合において、転送先ダイヤルを入力後、転送先を呼び出す前に切断ボタンもしくは保留ボタンを押下した場合、それ以降の通話において音声を通らなくなることがあります。その場合は、FOMA N900iLの再起動等の操作を実施ください。 FOMA N900iLからの発信時、WLANサービスエリア内においても「110」「112」「118」「119」「000」「08」「911」「999」等の番号(以下、特番)については、必ずFOMAネットワークへの発信となります。 保留転送時、ダイヤル先に特番の番号を入力した場合、保留中のまま相手の方が切断されるまでFOMA N900iLの操作ができなくなります。その場合、FOMA N900iLを再起動してください。 WLANモードでFOMA N900iLを利用中に、FOMAネットワークからの音声着信等と競合した場合にFOMA N900iLが再起動することがあります。 FOMAモードでFOMA N900iLを利用中に、WLAN通信からの音声着信が競合した場合にFOMA N900iLが再起動することがあります。 FOMA N900iLのマルチタスク機能はご利用になれません。 相手から保留されている状態で、FOMA N900iLを保留した場合、相手へ保留音が出送されません。相手先が保留解除しても相手側へは無音状態となります。 保留中に履歴ボタンの操作は、履歴に残っている番号に発信されます。 WLANモードで利用する場合、「ドライブモード」「非通知着信拒否」「電話帳登録外着信拒否」等の「着信拒否」の設定をしないでご利用下さい。 FOMA N900iLにて通話を保留したまま圏外に移動した場合、それ以降の通話において音声を通らなくなることがあります。その場合は、FOMA N900iLの再起動等の操作を実施ください。 パーク保留(システム共通保留)の応答は可能ですが、FOMA N900iLからのパーク保留をすることができません。 FOMA N900iLでISDN回線等で使用するサブアドレスを付与され着信した通話に対しての着信履歴発信は、できません。 FOMA N900iLで「104」や「フリーアクセス」「フリーダイヤル」等の電話番号への通信では、PB信号を送出することができません。

<IPビジネスホンの注意事項>

FOMAN900iLをシステムコードレスとして利用しWLANサービスエリア外にいるときにもFOMAネットワークで転送する場合は、IPビジネスホン主装置にて圏外転送の設定が必要となります。 上記のIP対応ビジネスホンの設定をする場合は、お買い求めいただいた販売担当者にお申し付け下さいますようお願い致します。 IP対応ビジネスホンの設定変更をする場合は、別途工事費が必要となります。